

編集後記

昨年(平成23年)科学分析支援センターでは、震災時に破損した400MHzの核磁気共鳴装置の更新、震災の影響を受けた機器の再調整や節電対策に伴う機器利用の制限など利用者の方には大変ご迷惑をおかけした一年間でした。また、世間でも震災の復興ニュースであふれておりました。

この編集後記を書いております2012年を振り返って、本年度も昨年の震災の影響が政治、経済面、環境面に現われ、非常に不安定で激動の年だと実感します。そう考えると今後も概算要求での機器の導入は難しいのかと考えさせられます。

今後も教育や研究環境に窮しつつも、素晴らしいサイエンスがこの埼玉大学から発信されることを祈っております。科学分析支援センターではそれを精一杯サポートしたいと思います。

末筆にて恐縮ですが、ご寄稿の依頼に快く応じていただきました執筆者の皆様方、ご健康とますますのご発展を祈念いたします。また、今回のCACS FORUMの発刊にあたり原稿と格闘し編集の労を執っていただきました、新美智久専門技術職員、高岸昌弘技術補佐員にこの場をかりて厚くお礼申し上げます。

(文責 安武 幹雄)

CACS FORUM

埼玉大学研究機構 科学分析支援センター機関誌

No. 3 2012. 12

発行者 埼玉大学研究機構 科学分析支援センター

さいたま市桜区下大久保255

URL <http://www.mlsrc.saitama-u.ac.jp/>

TEL 048(858)3670 (ダイヤルイン)

FAX 048(858)3707

印刷所 文進堂印刷株式会社

さいたま市岩槻区仲町1-10-13